〈下書き用です。これをもって提出はできませんのでご注意ください。〉

様式第6号（第24条、第25条、第33条関係）（甲）（1）

労働保険 概算・増加概算・確定保険料 申告書
31759 石綿健康被害救済法 一般拠出金

下記のとおり申告します。

継続事業（一括有期事業を含む。）

標準字体 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

第3片「記入に当たっての注意事項」をよく読んでから記入して下さい。
OCR枠への記入は上記の「標準字体」でお願いします。

提出用

年 月 日

あて先 〒

労働保険特別会計歳入徴収官殿

種別 3 2 7 0 1　※修正項目番号　※入力徹定コード（項1）

※各種区分			
管轄②	保険関係等	業種	産業分類

（なるべく折り曲げないようにし、やむをえない場合には折り曲げマーク（▶）の所で折り曲げて下さい。）

①労働保険番号：都道府県 | 所掌 | 管轄 | 基幹番号 | 枝番号（項2）

②増加年月日（元号：令和は9）　項3
③事業廃止等年月日（元号：令和は9）　項4
※事業廃止等理由　項5
④常時使用労働者数　項6
⑤雇用保険被保険者数　項7
※保険関係　項9
※片保険理由コード　項10

確定保険料算定内訳

算定期間　令和3年4月1日　から　令和4年3月31日　まで

⑦区分	⑧保険料・一般拠出金算定基礎額	⑨保険料・一般拠出金率	⑩確定保険料・一般拠出金額（⑧×⑨）
労働保険料	(イ) 項11 千円	(イ) 1000分の	(イ) 項12 円
労災保険分	(ロ) 項13 千円	(ロ) 1000分の	(ロ) 項14 円
雇用保険分	(ホ) 項18 千円	(ホ) 1000分の	(ホ) 項19 円
一般拠出金（注1）	(ヘ) 項35 千円	(ヘ) 1000分の	(ヘ) 項36 円

（注2）一般拠出金は延納できません
（注1）石綿による健康被害の救済に関する法律第35条第1項に基づき、労災保険適用事業主から徴収する一般拠出金

概算・増加概算保険料算定内訳

算定期間　令和4年4月1日　から　令和5年3月31日　まで

⑪区分	⑫保険料算定基礎額の見込額	⑬保険料率	⑭概算・増加概算保険料額（⑫×⑬）
労働保険料	(イ) 項20 千円	(イ) 1000分の	(イ) 項21 円
労災保険分	(ロ) 項22 千円	(ロ) 1000分の	(ロ) 項23 円
雇用保険分	(ホ) 項26 千円	(ホ) 1000分の	(ホ) 項27 円

⑮事業主の郵便番号（変更のある場合記入）　項28
⑯事業主の電話番号（変更のある場合記入）　項29
⑰延納の申請 納付回数　項30
※検算有無区分　項31
※算調対象区分　項32
※データ指示コード　項33
※再入力区分　項34
※修正項目

⑧⑩⑫⑭⑳の（ロ）欄の金額の前に「¥」記号を付さないで下さい。

⑱申告済概算保険料額	円	⑲申告済概算保険料額	
		㉑増加概算保険料額（⑭の(イ)－⑲）	

㉑差引額
(イ)充当額　（⑱－⑲の(イ)）　円　(ハ)不足額　（⑲の(イ)－⑱）　円　㉗充当意思（項37）
1：労働保険料のみに充当　2：一般拠出金のみに充当　3：労働保険料及び一般拠出金に充当
(ロ)還付額　（⑱－⑲の(イ)）　円（項38）

㉛法人番号（項39）

㉒期別納付額

第1期又は全期初期	(イ)概算保険料額（⑭の(イ)＋㉑＋次期以降の円未満端数）	(ロ)労働保険料充当額（⑳の(イ)（労働保険料分のみ））	(ハ)不足額（㉑の(ハ)）	(ニ)今期労働保険料（(イ)－(ロ)又は(イ)＋(ハ)）	(ホ)一般拠出金充当額（⑳の(イ)（一般拠出金分のみ））	(ヘ)一般拠出金額（⑲の(ヘ)－㉑の(ホ)）（注2）	(ト)今期納付額（(ニ)＋(ヘ)）
	円	円	円	円	円	円	円
第2期	(チ)概算保険料額（⑭の(イ)＋㉑）	(リ)労働保険料充当額（㉑の(イ)－㉓の(ロ)）	(ヌ)第2期納付額（(チ)－(リ)）				
	円	円	円				
第3期	(ル)概算保険料額（⑭の(イ)＋㉑）	(ヲ)労働保険料充当額（⑳の(イ)－㉓の(ロ)－㉔の(リ)）	(ワ)第3期納付額（(ル)－(ヲ)）				
	円	円	円				

㉕事業又は作業の種類

㉓保険関係成立年月日

㉔事業廃止等理由
(1)廃止　(2)委託　(3)個別　(4)労働者なし　(5)その他

㉖加入している労働保険　(イ)労災保険　(ロ)雇用保険
㉗特掲事業　(イ)該当する　(ロ)該当しない

㉘事業
(イ)所在地
(ロ)名称

㉙事業主
郵便番号　－
電話番号　（　）　－
(イ)住所（法人のときは主たる事務所の所在地）
(ロ)名称
(ハ)氏名（法人のときは代表者の氏名）

社会保険労務士記載欄	作成年月日・提出代行者・事務代理者の表示	氏名	電話番号

きりとり線